2020 年度　第二回

吹田竜ヶ池デイサービスセンター　運営推進会議報告

社会福祉法人成光苑
吹田竜ヶ池デイサービスセンター

【概要】

※新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、特定の場所での会合は行わず、書面の郵送にて報告と意見交換を実施。

対象事業所

吹田竜ヶ池デイサービスセンター「地域密着型通所介護」「認知症対応型通所介護」

参加者

ご利用者ご家族様 2 名
千一地区福祉委員様 1 名
地域包括支援センターケアマネジャー様 1 名
居宅介護支援事業所ケアマネジャー様 1 名
吹田竜ヶ池デイサービスセンター4 名
佐藤裕之(施設長)、喜多記子(事業部長)、森畑恵介(地域密着型通所介護生活相談員)、中尾和輝(認知症対応型通所介護生活相談員)

期間

2021 年 3 月 31 日付で吹田竜ヶ池デイサービスセンターより参加者様に報告書を郵送。約 2 週間でご意見・ご要望についての返信を頂く。

【報告内容】

1. 活動状況報告

2020 年度 10 月～2 月までの活動状況をご報告させて頂きます。

≪認知症対応型通所介護≫

①ご利用者の状況・推移　　2021 年　2 月時点

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人数	0	0	6	5	6	4	0	21
延人数	0	0	38	26	40	22	0	126

男性　7 名　　R2 年度　2 月　平均介護度　男性　2.4　女性　2.6　全体平均　2.5

女性　12 名　　R3 年度　2 月　平均介護度　男性　2.0　女性　2.5　全体平均　2.3

2020 年度 10 月～2 月の傾向

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令や解除にともない、利用を自粛されたり再開されたりと、毎週ご利用人数に変動がある半年となりました。また、寒くなる季節で体調を崩される方や施設にご入居される方が今年度は比較的多く、ご利用者様の入れ替わりが多くありました。

②事故・ご意見

今年度発生した事故やご意見の中から重要なものについてご報告させて頂きます。

保険者(吹田市)への報告事項　0 件

〇認知症の診断の有無について確認が不十分であった件

医師による認知症診断が行われているということの確認が必要であると失認しており、新規依頼を受けさせて頂いた際にケアマネジャー様からのケアプランへの位置付けのみで認知症の診断があると判断し、実際の診断がなされていないまま受け入れを行ってしまいました。担当ケアマネジャー様の協力のもと、保険者の吹田市から指示を頂き、該当ご利用者様に後日認知症の診断を受けて頂くことで修正処置を行っております。他のご利用者様の認知症診断の有無の再確認を行い問題がないことを確認し、また契約・面接時に認知症診断の有無の確認を忘れないよう、聴き取り用紙に確認事項を予め記載しておくことを対策としております。

≪地域密着型通所介護≫

①ご利用者の状況・推移　　2021 年　2 月時点

	要支援		事業対象者	要介護					計
	1	2		1	2	3	4	5	
実人数	3	6	3	18	12	5	3	4	54
延人数	11	40	0	131	94	40	6	17	339

男性　8 名　　R2 年度　2 月　平均介護度　男性 1.7　女性 1.6　全体平均 1.6

女性　46 名　　R3 年度　2 月　平均介護度　男性 1.8　女性 1.6　全体平均 1.6

2020 年度 10 月～2 月の傾向

近隣の事業所の閉鎖や緊急事態宣言の解除に伴い、今年度は新規のご依頼が比較的多くありました。特に総合事業の方の新規依頼は継続しています。利用回数を増回したいという希望もあり、現在曜日によっては空きが出るのを待って頂いています。毎週の利用ができなくても空いたところを追加利用するといったスポット利用の対応もしております。

②事故・ご意見

保険者(吹田市)への報告事項　0 件

10 月～2 月では目立った事故やご意見はありませんでした。

8 月に発生したご利用者様の名前間違いによる服薬ミスの事故につきましては、手順の見直しとスタッフへの手順の再指導を直ちに行い、見直した手順の内容もご利用者様・スタッフともに負担のないものとなっており、現在まで事故は発生しておりません。

2. 円滑なサービス提供を実施するための今年度の重点項目

①サービス提供の漏れや遅れのミスを生じさせない体制作り

みなさまに予定通りのサービスをご利用して頂くために、生活相談員による予定のダブルチェックを毎月実施してきました。また、介護スタッフを交えた定例会議では送迎時の順路や介助方法について情報の共有や見直しを行ってきました。しかし 3 月に予定のダブルチェックでの相談員の連携ミスによるお迎えの遅れがありました。ダブルチェック時に間違いを発見して修正した際、相談員同士で再度報告作業を行っていませんでした。その為、修正した内容の方が間違っていて本来利用予定としていたところを欠席と修正してしまい、ご家族様からの連絡で当日がご利用であると気付くことになってしまいました。これを受け、現在は予定のダブルチェックを行った後に相談員同士で修正項目があったかの報告作業を行うようにしております。

前年度はスタッフ間の連携ミスによるお迎えの遅れが１件ありました。今年度は３月に上記の１件があり合計１件となりました。

②服薬ミスの発生防止対策

服薬のお手伝いの手順についての確認を毎月の定例会議にてデイサービス全スタッフで実施しております。今年度８月に薬の飲み間違いの事故があり、手順の見直しや再確認を行い服薬事故の再発防止に努めてきました。

前年度は服薬関係の事故件数が０件で、今年度は８月に１件発生しました。それ以降、全スタッフが見直した手順に基づいて正しく服薬の支援を実施し、服薬ミスは発生しておりません。

3. 2020 年度の吹田竜ヶ池デイサービスセンターの取り組み

①今年度の取り組み

【認知症対応型】

・ご利用者様に日常の中でのやりがいを見つけて頂くために、農園のお世話と編み物をプログラムとして実施しています。農園では季節ごとに作物を育て、収穫作業をご利用者様と一緒に行いました。今年度は新型コロナウイルスの予防のために大勢での参加は避け、部分的なお手伝いをお願いしました。編み物は興味のある方たちとコツコツと続け、今冬にひざ掛けが完成しました。

・日めくりカレンダーを活用して、月日を確認しながらカレンダーをめくるという習慣を作りました。コミュニケーションをとりながら行うことでご利用者様も気分が良くなるようで、入浴が苦手な方もカレンダーをめくった後なら気持ちよく入浴して頂けることもありました。

・複数の動作を同時に行うデュアルタスクを取り入れた体操や手遊びを行い、脳と身体を動かす機能の活性化に力を入れています。できなくて当たり前の動作が多いのがポイントで、できてもできなくても参加された方みんなで笑いながら取り組める内容となっています。

【地域密着型】

・約３か月毎に「食べたいおやつ・飲み物」のアンケートをご利用者様に取らせて頂いています。食べたいものを食べるということを通してデイサービスの利用が楽しみになるきっかけ作りを行っております。

・ハンドマッサージとネイルシールを実施しています。気持ちよくおしゃれになって

頂くのはもちろんのこと、スタッフと一対一で行うため普段お話しできないことを話して頂ける場としても効果がでています。感染予防対策を取りながら安心してみなさまに体験して頂けるように努めております。

・土曜日はお休みになっている認知症対応型デイサービスの部屋を活用し、プロジェクターで映画を上映しました。懐かしい映画で当時を思い出してお話も盛り上がっていました。今後も定期的に実施予定です。

・ご利用者様からのリクエストにお答えし定期的に図書コーナーの補充・入替を行っております。

・自宅での生活を継続するための筋力維持を目的とした運動や体操を実施しております。ゲーム感覚で楽しくできるように努めております。
・廊下の壁面にご利用者様の作品を展示させていただき、デイサービスで作品を作成する意欲を高める事を目的としております。展示されることを楽しみにしておられるご利用者様が多く、塗り絵や工作など意欲的に取り組まれる方が増えたと感じております。

②新型コロナウイルス感染症の予防対策下でのご利用中のみなさまのご様子

1 月に介護老人福祉施設フロアと高齢者向け優良賃貸住宅フロアで陽性者が出たことから緊急のまん延防止対策として、デイサービスの 3 日間の営業自粛という措置をとらせていただくこととなり、みなさまにはご心配・ご迷惑をおかけしました。その分、全館協力して早急な対応をとり、それ以上の感染者が出ることなく 4 日後からの通常営業を再開させることができました。その後は保健所からの助言のもと、より一層感染症対策に力を入れておりますので何卒ご協力をよろしくお願い申し上げます。新型コロナウイルスの影響で提供できるサービスが制限されご迷惑をおかけしておりますが、みなさまのご理解とご協力のもとで楽しくデイサービスで活動されています。デイだよりを同封しておりますのでそちらでご様子をご確認下さい。

③地域とのかかわり

・地域の方々によるボランティア協力としましては、第 1 第 3 火曜日の習字教室と、第 4 金曜日のペン習字教室があります。緊急事態宣言中は中止させていただく等、流行の状況を見ながら開催をしております。今後こまめに中止や再開を繰り返すことになると思いますが、安全と楽しみを両立できるよう努力して参りますのでご理解をいただけるようお願い申し上げます。
・1/22～2/5 の期間で上山手郵便局のギャラリースペースをお借りし、デイサービスでご

利用者様が作成した塗り絵や習字の作品を展示させていただきました。地域のみなさまに竜ヶ池デイサービスセンターの魅力をお伝えする場として、今後も定期的にギャラリースペースを活用させていただく予定です。

4. 前回会議でのご意見等とその後の取り組み

前回会議ではご家族様から、デイサービスでの様子を知る機会が乏しく、本人が楽しく参加しているのかがわからず、家族内で話題にできないとのご意見を頂きました。これまで、少しでもスタッフがご利用者様とかかわる時間を多くとれるように、連絡帳には必要事項のみ記載してきました。ご家族様のご意見をもとに会議で検討し、なかなかご自分でご家族様にお話ができない方には、週に一回、スタッフから連絡帳にご様子を記載させて頂くこととしました。

【本会議でのご意見・ご要望】

〇ご利用者ご家族様

意見・要望なし

〇ご利用者ご家族様

「いつもお世話になりありがとうございます。コロナ禍での仕事には敬服いたしております。デイサービスの様子はデイサービス便りの写真が一番わかり易く楽しく拝見しています。可能であれば“つばさ”と“おおぞら”を各々の様子として掲載して頂くともっと身近に拝見できるかと思います。ハンドマッサージもこの時期には実施しづらいかと思います。母は有料だと思っていたようです。又、機会があれば誘っていただきたく、連絡帳への記入もお願いします。」

〇地域包括支援センターケアマネジャー様

「平素は何かとお世話になっております。新型コロナウイルス感染症の終息が予測できず、充分な活動ができずジレンマを抱えておられる事と思います。感染予防に留意されながらこれからも活躍下さい。宜しくお願い致します。」

〇居宅介護支援事業所ケアマネジャー様

「いつもありがとうございます。コロナ禍でのデイサービスの運用は大変であると思われますが、利用者及びご家族様は、非常に助かっている状況です。今後とも宜しくお願い致します。」

〇千一地区福祉委員様

「昨年から続くコロナウイルス感染症の為、活動できませんがよろしくお願い致します。デイサービス便り素晴らしい表紙ですね。利用者様の様子がよくわかります。」

【ご意見・ご要望への今後の取り組み】

・デイサービス便りの写真の掲載方法について
ご利用のサービスでどのような活動に参加されたかをより具体的にお伝えできるように、令和３年度のデイサービス便りから、地域密着型通所介護の写真には“つばさ”の「つ」、認知症対応型通所介護の写真には“おおぞら”の「お」をつけさせて頂くこととなりました。

・ハンドマッサージやその他イベントに関するお知らせの仕方について
ハンドマッサージの開催はスタッフの出勤状況やコロナ禍の影響で不定期に行っていたこともあり、積極的にご利用者様・ご家族様に案内ができず、詳しいご説明ができておりませんでした。興味のある方々が出来るだけ参加できるよう、パンフレットやデイ便りを通じて案内していけるよう検討していきます。

今回の取り組み結果につきましては、次回の会議にて経過と合わせてご報告をさせて頂きます。

以上